

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期田舎館村まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

青森県南津軽郡田舎館村

3 地域再生計画の区域

青森県南津軽郡田舎館村の全域

4 地域再生計画の目標

本村の人口は、令和2年の国勢調査によると、7,326人となっており、過去数十年にわたり減少傾向が続いている。国立社会保障・人口問題研究所によると、令和32年には4,368人になる見込みである。

年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14歳）は令和2年の836人をピークに減少し、令和32年には424人となる見込みである。老年人口（65歳以上）は令和2年の2,639人をピークに減少し、令和32年には2,084人となる見込みとなっており、少子高齢化がさらに進むことが想定される。また、生産年齢人口（15～64歳）も令和2年の3,851人をピークに減少傾向にあり、令和32年には1,860人となる見込みである。

自然動態をみると、近年人口の自然減（出生数と死亡の差）がさらに大きくなり、自然減が100人を超える年も見られる。高齢者人口は減少に転じていく見込みであるものの、後期高齢者の人口はしばらく増加し続ける見込みとなっており、死亡者数は高止まりすることとも考えられ、人口減少がある程度続くことは不可避のものと考えられる。出生数については、横ばいの状態が続いており、現状を下回らないよう、出来れば増加するよう、子育て支援策等の充実が求められる。

社会動態をみると、令和3、4年と社会増減が大きくなっている。若者の転出超過傾向は、男女ともに20年前10年前と比較し、20代後半になる年齢層での転出超過傾向は弱くなっているものの、若年層の転出超過傾向は顕著に見られる状況とな

っている。20 歳前後で転出超過となることが不可避と考えるならば、その後戻ってきてもらうことが必要だが、20 代後半から 30 代前半になる年代は転出超過となっている。一度出ていった若者を中心に、20～30 代の若者を呼び込む取組が求められる。10 年前と比較して 20～30 代の男女の数は、女性人口が減少傾向なことから、若い女性が住みやすいむらづくりが必要である。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、村民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現を図り、自然増につなげる。また、移住を促進するとともに、安定した雇用の創出や地域を守り、活性化するまちづくり等を通じて、社会減に歯止めをかける。

なお、これらに取組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標 1 自然と共生する元気な・いなかだて（しごとの創生）
- ・基本目標 2 若者がいきいきと輝く・いなかだて（ひとの創生）
- ・基本目標 3 村民の笑顔あふれる・いなかだて（まちの創生）

【数値目標】

5－2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和11年度)	達成に寄与 する地方版 総合戦略の 基本目標
ア	「道の駅いなかだて 弥生の里」における売上額	1.5億円 (R5)	1.6億円 (R11)	基本目標 1
	新規就農者数	2 人 (R6)	20 人 (R11までの累計)	
イ	定住人口（住民基本台帳人口）	7,254人 (R6)	6,500人 (R11)	基本目標 2
	出生数	30 人 (R6)	200 人 (R11までの	

			累計)	
ウ	がん検診受診率	胃21.1% (R5) 大腸23.1% (R5) 肺18.2% (R5)	30% (R11)	基本目標 3
		子宮31.9% (R5) 乳34.8% (R5)	40% (R11)	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

田舎館村まち・ひと・しごと創生事業

ア 自然と共生する元気な・いなかだて（しごとの創生）事業

イ 若者がいきいきと輝く・いなかだて（ひとの創生）事業

ウ 村民の笑顔あふれる・いなかだて（まちの創生）事業

② 事業の内容

ア 自然と共生する元気な・いなかだて（しごとの創生）事業

豊かな自然と伝統文化を大切にし、農業と工業の調和した稲かおる故郷で、安心して生活できるむらづくりを進めます。とりわけ、田んぼアートの地域経済波及効果を高める取組を強化します。

【具体的な事業】

- ・ 農業生産基盤の整備促進
- ・ 地場産品の販路拡大の促進
- ・ 企業や事業継承の支援 等

イ 若者がいきいきと輝く・いなかだて（ひとの創生）事業

すべての村民が生き生きと活躍できるむらづくりを進めます。結婚・

出産・子育て・教育環境の充実を図り、将来の村を支える人を地域で育てます。

【具体的な事業】

- ・ 出会いの機会を創出するイベントの企画
- ・ 妊婦健康診査の実施
- ・ 地域子育て支援拠点事業の実施 等

ウ 村民の笑顔あふれる・いなかだて（まちの創生）事業

すべての村民が健康で安全・安心な生活を送れるよう、保健サービスの提供や、自らの健康づくりへの支援に努めるとともに、公共交通機関の充実促進、雪対策の拡充など、生活環境の充実、地域社会づくりに努めます。

【具体的な事業】

- ・ がん検診の質の確保
- ・ 路線バスに代わるデマンド交通及びライドシェア等導入の検討
- ・ 除排雪に必要な機械の安定的な確保 等

※なお、詳細は田舎館村第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

400,000 千円（2026年度～2029年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度9月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに田舎館村公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2030年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2030年3月31日まで